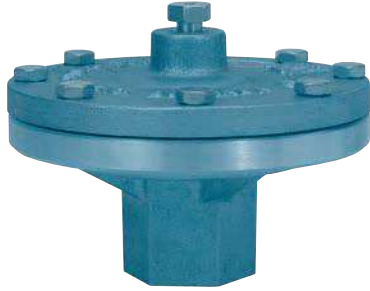


今まで 20 年以上の実績を持つベーシックなバキュームブレーカです。シンプルな構造で確実に作動します。

配管や容器が真空となった場合、そのままにしておくと逆流の原因となったり、容器がつぶれたりすることがあります。RVD19-2 型は、配管や容器が真空となった場合、速やかに空気を吸い込み真空を破壊します。なお、RVD19-2 型の上流に逆止め弁を取り付けることによって逆流防止として使用することができます。



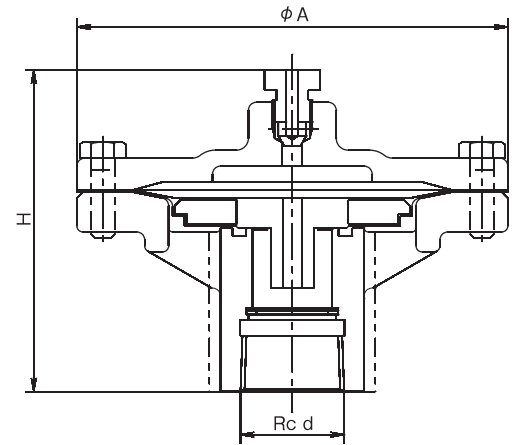
## ■ 特徴

- 大きな吸気量で素早く真空を破壊します。
- ダイアフラム形のため非常に小さな差圧で確実に作動します。
- 長期間 圧力（最高 1MPa）と温度（最高 90℃）がかかっても作動は確実です。
- 接液部はすべて耐食性材料を使用しておりますのでさびの心配はありません。
- 弁体には合成ゴムを使用しておりますので止りは良好です。

## ■ 仕様・性能

流体	冷・温水	
呼び径	20・50	
最高使用圧力 (MPa)	1	
最高使用温度 (°C)	90	
最低作動圧力 (kPa)	-1.5以下	
材料	弁箱	青銅
	ダイアフラム弁体	合成ゴム
	ストレーナ	ステンレス鋼
管接続	ねじ込み形 JIS Rc	
用途	冷却塔・冷暖房用膨張タンク・プール・厨房器具・医療器具・洗濯器具などの飲料水配管系統の負圧破壊 空調用冷・温水配管の負圧破壊	

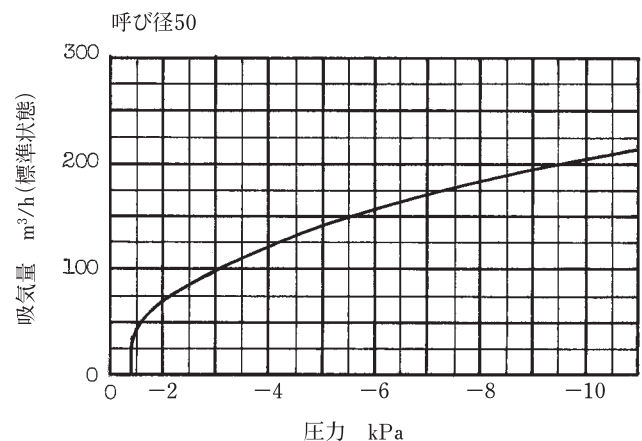
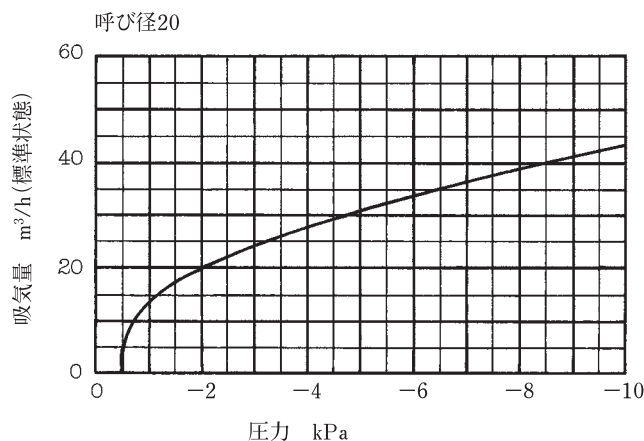
## ■ 構造・寸法・質量



呼び径		20	50
寸法	d	3/4	2
	H	80	109
	A	108	140
質量		1.5	4

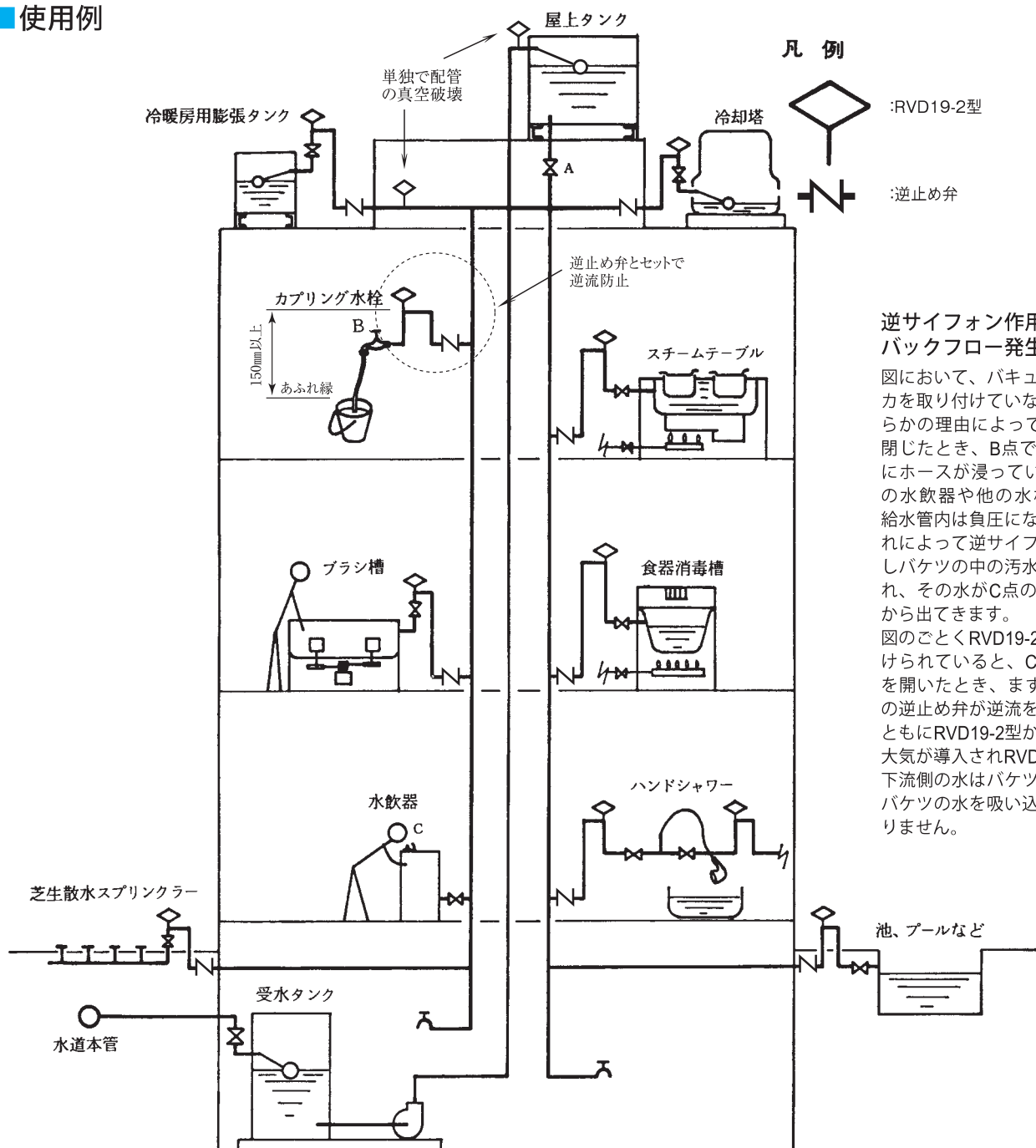
(mm, kg)

## ■ 空気吸込み量



# RVD19-2型 バキュームブレーカ

## ■ 使用例



### 逆サイフォン作用によるバックフロー発生の説明

図において、バキュームブレーカを取り付けていない場合、何らかの理由によってA点の弁を閉じたとき、B点でバケツなどにホースが浸っていると、C点の水飲器や他の水栓を開くと給水管内は負圧になります。これによって逆サイフォンが発生しバケツの中の汚水が吸い込まれ、その水がC点の水飲器などから出てきます。

図のごとくRVD19-2型が取り付けられていると、C点の水飲器を開いたとき、まずB点の近くの逆止め弁が逆流を防止するとともにRVD19-2型から配管内に大気が導入されRVD19-2型から下流側の水はバケツ側へ落ち、バケツの水を吸い込むことはありません。

## ■ 使用の際の御注意

1. バキュームブレーカの下流側配管は、立ち上げないでください。
2. バキュームブレーカ単体では逆流防止機能がありません。逆流防止として使用する場合は、バキュームブレーカを増水した場合のあふれ縁（右図参照）から150mm以上配管を立ち上げ、その頂部に取り付け、バキュームブレーカの上流には、逆止め弁を取り付けてください。
3. 周囲が清潔な所に取り付け、また吸気口は保温しないでください。
4. ごみかみなどによる、万一の吸気口からの水漏れを配慮して、水漏れしても安全な場所に取り付けてください。

備考 あふれ縁とは衛生器具等の場合、容器の水を入れることができる最高水面のことです。タンク類の場合は、オーバーフロー口において水があふれ出る部分の最下端をいいますが、RVD19-2型はタンク類の増水した場合のあふれ縁を取付の基準とします。

